

# 「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

森林活用推進課

## 1 調査目的

「清流の国ぎふ森林・環境税」(以下「県森林・環境税」という。)に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見などを伺いました。

## 2 調査対象等

調査対象: 県政モニター 839人(郵送モニター199人、インターネットモニター640人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和6年6月17日～7月12日

回収結果: 781人(回収率:93.1%)

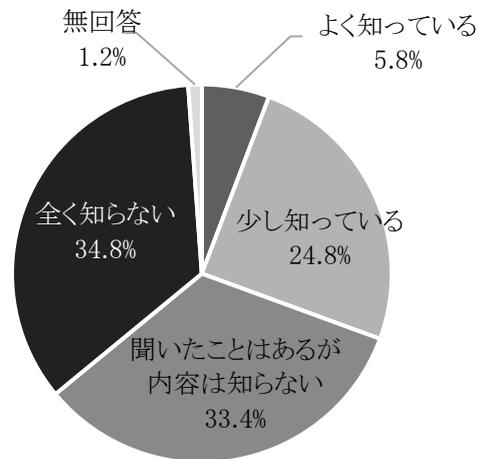
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 3 結果概要

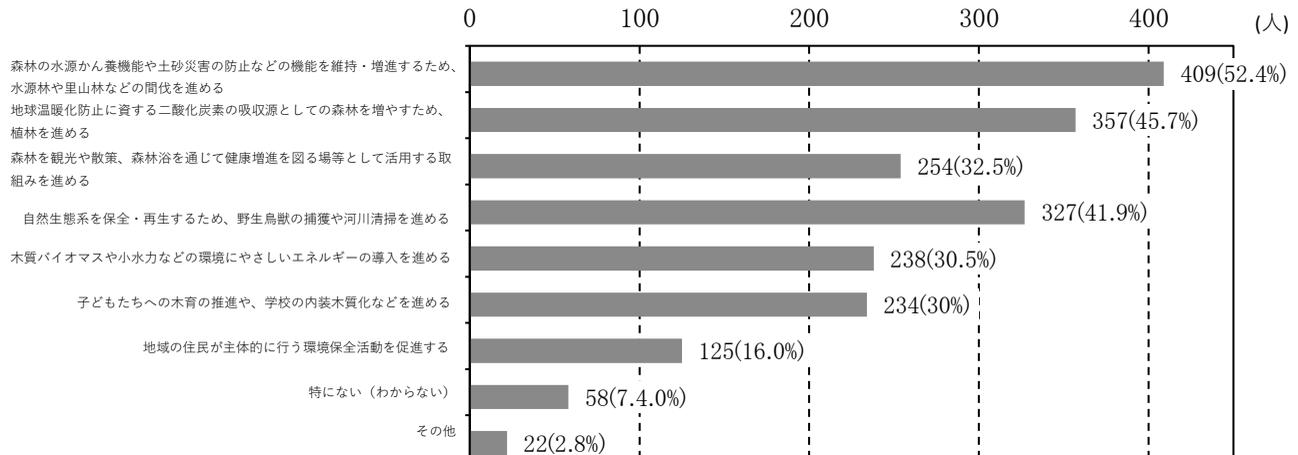
### ○ 県森林・環境税の認知度について

「県森林・環境税」の認知度は、64.0%（「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）となっている。一方、「全く知らない」は34.8%となっている。



### ○ 県森林・環境税の使いみちについて

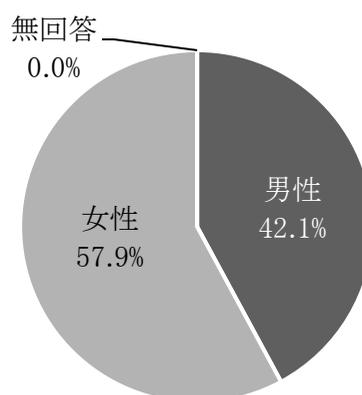
「県森林・環境税を活用した取組み」について、引き続き最も県で取り組んでほしいものは「森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める」が52.4%、次いで「地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める」が45.7%となっている。



## 4 回答者属性

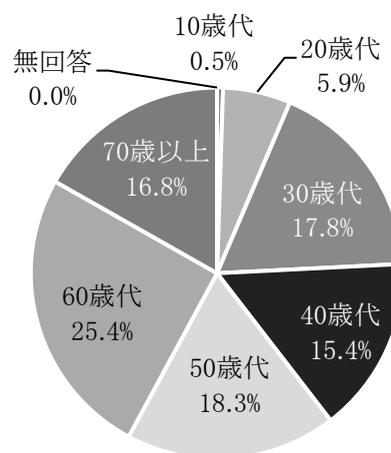
### (1) 性別

	人数	割合
男性	329	42.1%
女性	452	57.9%
無回答	0	0.0%
計	781	100.0%



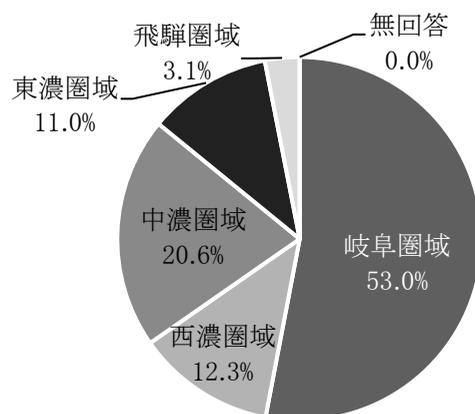
### (2) 年代別

	人数	割合
10歳代	4	0.5%
20歳代	46	5.9%
30歳代	139	17.8%
40歳代	120	15.4%
50歳代	143	18.3%
60歳代	198	25.4%
70歳以上	131	16.8%
無回答	0	0.0%
計	781	100.0%



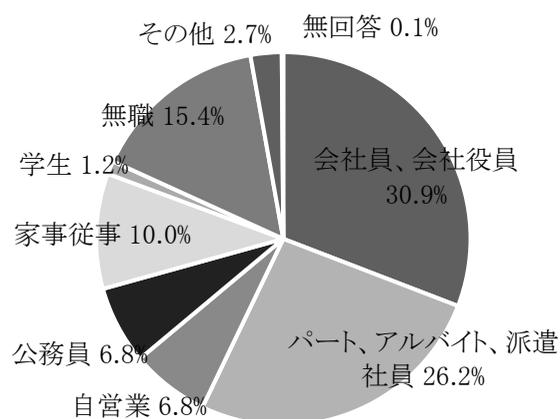
### (3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	414	53.0%
西濃圏域	96	12.3%
中濃圏域	161	20.6%
東濃圏域	86	11.0%
飛騨圏域	24	3.1%
無回答	0	0.0%
計	781	100.0%



### (4) 職業別

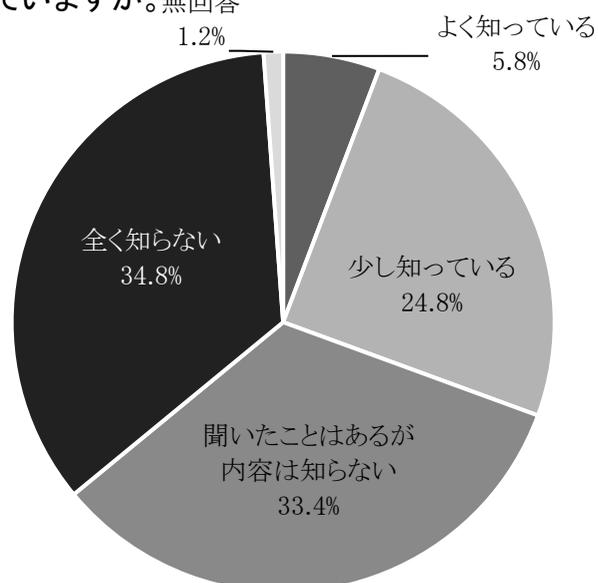
	人数	割合
会社員、会社役員	241	30.9%
パート、アルバイト、派遣社員	205	26.2%
自営業	53	6.8%
公務員	53	6.8%
家事従事	78	10.0%
学生	9	1.2%
無職	120	15.4%
その他	21	2.7%
無回答	1	0.1%
計	781	100.0%



## 5 調査結果

問1 あなたは、県森林・環境税について知っていますか。無回答

	人数	割合
よく知っている	45	5.8%
少し知っている	194	24.8%
聞いたことはあるが内容は知らない	261	33.4%
全く知らない	272	34.8%
無回答	9	1.2%
計	781	100.0%

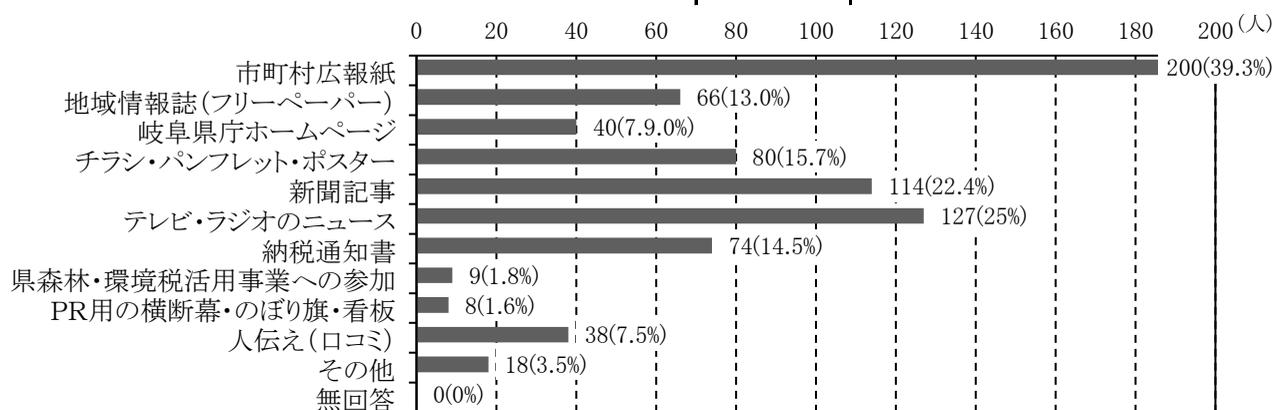


(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問2 あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(複数回答) 回答者 509 人

	回答数	割合
市町村広報紙	200	39.3%
地域情報誌(フリーペーパー)	66	13.0%
岐阜県庁ホームページ	40	7.9%
チラシ・パンフレット・ポスター	80	15.7%
新聞記事	114	22.4%
テレビ・ラジオのニュース	127	25.0%
納税通知書	74	14.5%
県森林・環境税活用事業への参加	9	1.8%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	8	1.6%
人伝え(口コミ)	38	7.5%
その他	18	3.5%
無回答	0	0.0%
計	774	-

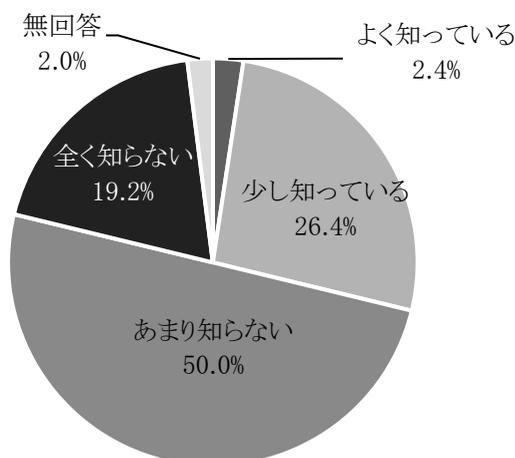


【その他】 SNS、給料明細、会社の掲示板 等

(問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方)

問3 あなたは県森林・環境税の使いみちをご存じですか。

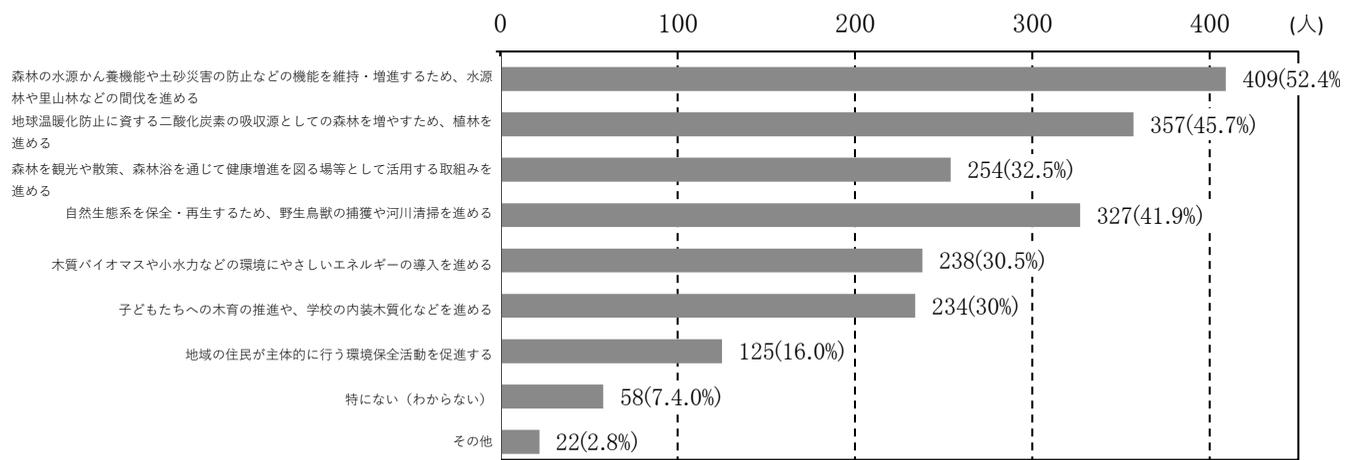
	人数	割合
よく知っている	12	2.4%
少し知っている	132	26.4%
あまり知らない	250	50.0%
全く知らない	96	19.2%
無回答	10	2.0%
計	500	100.0%



問4 県森林・環境税は、現在、森林づくりや、川づくり、水環境の保全などに関する取組みに活用されています。県森林・環境税を活用して、あなたが県で取り組んでほしいと思うものについて、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

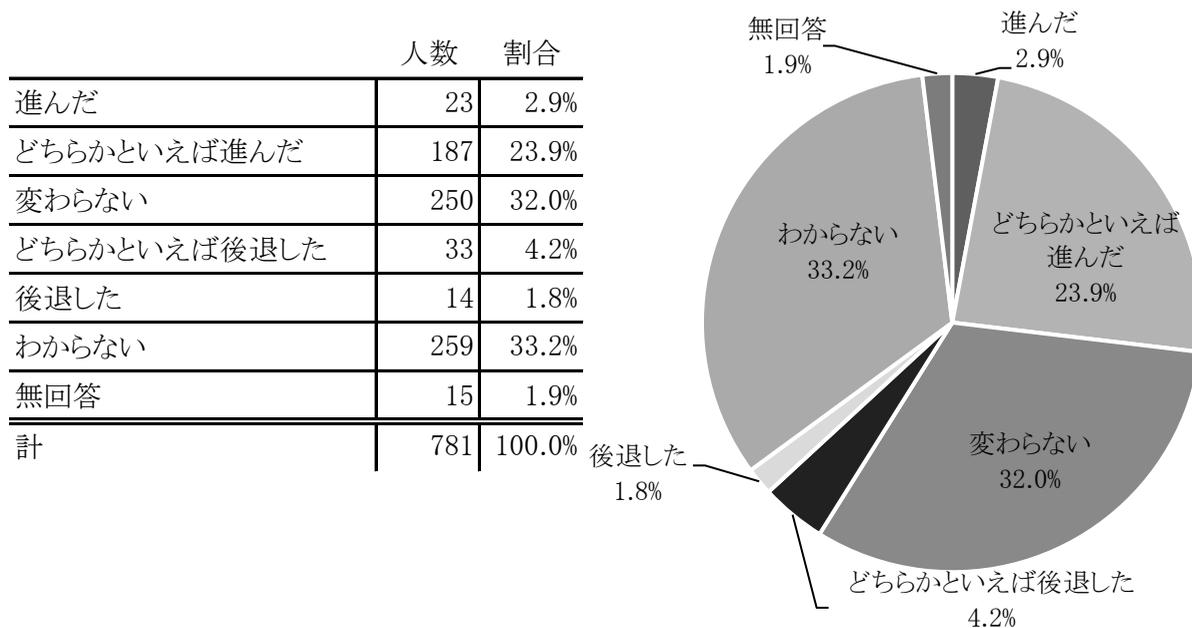
(複数回答) 回答者 781 人

	回答数	割合
森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める	409	52.4%
地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める	357	45.7%
森林を観光や散策、森林浴を通じて健康増進を図る場等として活用する取組みを進める	254	32.5%
自然生態系を保全・再生するため、野生鳥獣の捕獲や河川清掃を進める	327	41.9%
木質バイオマスや小水力などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	238	30.5%
子どもたちへの木育の推進や、学校の内装木質化などを進める	234	30.0%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	125	16.0%
特にない(わからない)	58	7.4%
その他	22	2.8%
計	2,024	—



【その他】 アレルギー(花粉症etc)の元となる木の伐採、野生動物と共生できる環境づくり 等

問5 近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に関する県の施策は進んだと感じますか。



問6 その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

### 【主な意見】

#### (広報について)

- それぞれの地域では環境整備が行われているが、県の方針、そこからそれぞれの地域での具体策が分かるとよいと思う。県の施策を県民に分かるよう広報してほしい。
- 森林や自然環境についてよく分からない。新聞も読んでいるが具体的な記事が載っていた記憶がない。もっと広報などで周知したほうが良いと思う。

#### (問題提起)

- 岐阜県は、森林と河川が大きな恵みであると思います。それを保全・再生していかないと恵が得られないばかりか、脅威となって襲いかかってきます。熊や猪などの里への出現、猛烈な雨による増水など、心配な事が多発しています。さらに、急いでの対策をお願いしたいです。
- 環境への取組みは必要であるが、環境だけを考えた取組みでは、県民は豊かにならない。特に森林など自然環境は、岐阜県の売りでもあると考える。インバウンドなど観光につながる取組み(例えば植林や間伐を体験として提供し、観光客を取り込むなど)など、経済効果の高い施策を優先して実行するべきと考える。将来は大切であるが、今を生きる人にも目を向けないと、税金に納得しない。
- 有用ではない道路開発、河川改修が多すぎると感じています。補助金にて何かを「やる」のではなく既存の事業を「やめる」勇気を持つことの方が環境への効果は高いと思います。
- 岐阜県は人口減少と高齢化により、地域は疲弊し、活力を維持していくことが難しくなりつつあると感じています。林政部局だけでなく、県庁全体で「地域の活力(郷土力)を向上させる取組」をお願いします。端的に言えば、次世代を担う若者が田舎で働き、結婚し、子育てして、安全に暮らすことに不自由しない、高速通信網や生活物資の購入なども格差ない暮らしができるような政策をお願いします。

#### (使途について)

- 花粉症等を考慮した植林を希望します。
- 子供たちが外で山などで過ごす機会が少なくなっていると思うので、いろんなイベントをやったりして自然と触れ合う機会を増やしてほしい。
- 自然学習のワークショップや木質バイオマスエネルギーの利用施設の見学など、環境への取組を学べる小中学校での授業があると良い。
- 住宅資材の高騰で家が建てづらくなっている。安価で年月の割に元が取れない杉ではなく、檜などを計画的に育て、岐阜県民が地産地消の家を建てられる様に循環型の山林保全、植林を行なって頂きたい。  
また、子供たちの給食の食器などをプラスチックではなく、木の器にしたり、山林県の強みを發揮して職人と工芸技術を守って貰いたい。

#### (その他)

- 祖母の家が飛騨市にあるのですが、高山市から飛騨市へ行くまでに峠を通ります。近年、道沿いに大きな太陽光パネルが増えたなあと感じております。

- 今回郵送されたパンフレットをみて、森林・環境税を活用した県の取り組みを詳しく知りました。間伐や危険木除去での生活保全是、災害が増えている昨今、とても重要なことと感じます。また、子育て中の身としては、木のぬくもりのある空間やおもちゃで子どもを遊ばせられることが、今後増えていくことを期待します。